

# 令和7年度あおもり農業グローバルチャレンジ研修 報告

## アジア3か国の稲作・ 研究・流通に学ぶ

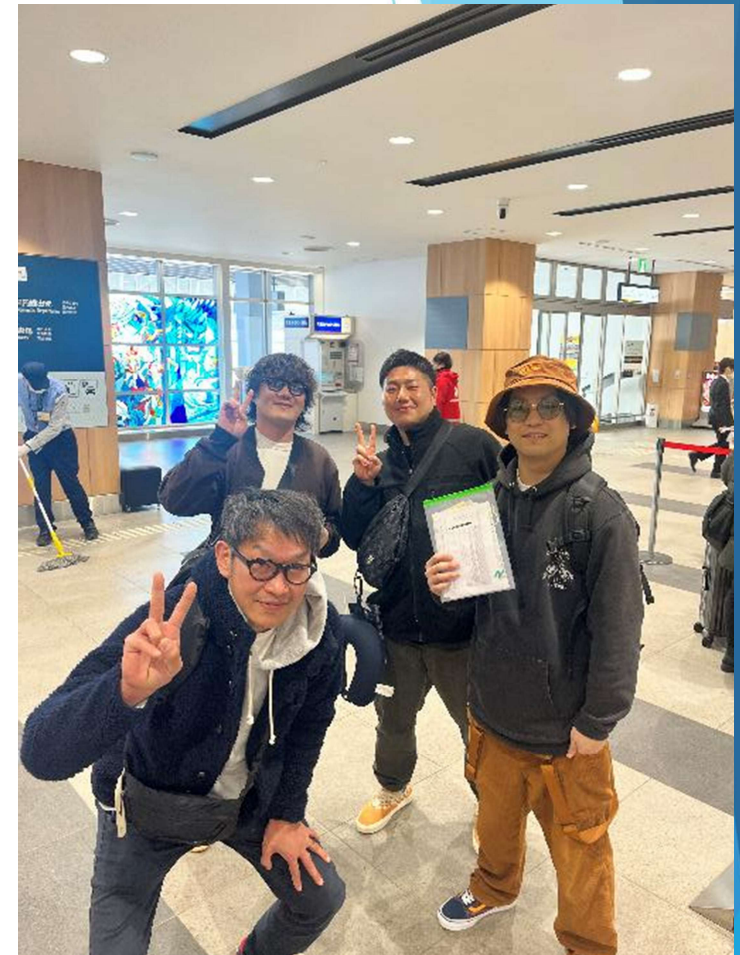
～ 次の一手を探しに、海外へ～

～TEAM 御三家～

山内 天人、黒滝 尚矢、今 敬豊 feat 三上 竜平

# TEAM御三家メンバー

- ▶ 山内 天人  
有限会社 山内農産 従業員
- ▶ 黒滝 尚矢  
株式会社 黒滝農園 専務
- ▶ 今 敬豊  
今農園 従業員
- ▶ 三上 竜平  
西北農林水産事務所 主幹



# 1 現状と課題

- ▶ 2040年には基幹的農業従事者数が35万人となり、一人当たりが負担する農地面積が大幅に増加

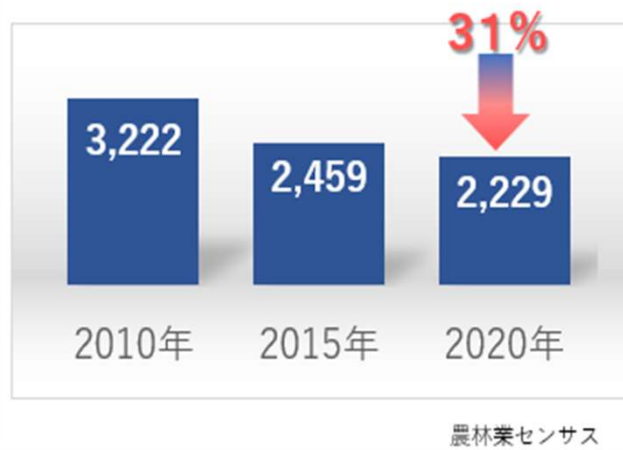
			ピーク時 (1960年)	現状 (2020年)	20年後の予測 (2040年)	あるべき姿 (2040年)
食料自給率(カロリーベース)			79%	38%	14%	—
食料自給力指標 (有事の生産転換)	肥料と農薬を 十分に確保 できる場合	米・小麦中心の 作付け	—	81%	—	—
		いも類中心の 作付け	—	120%	—	—
	肥料と農薬を 確保できない場合 (有機栽培)	米・小麦中心の 作付け	—	60%	—	100%
		いも類中心の 作付け	—	60%	—	100%
基幹的農業従事者数			1,175万人	140万人 (外国人2.7万人)	35万人	・日本人35万人 ・担い手外国人105万人
有機農業の割合			—	0.5%	1.3% (2030年目標値)	25%
農地面積			609万ha	450万ha	360万ha	750万ha

2040年の農政ビジョン（松下政経塾 農政ビジョン2040より）

# 1-1 現状

## 農業経営体数の減少

つがる市の農業経営体数は、H22年～R2年までの10年間で**31%**（県全体42%）減少  
〔原因は高齢化の進展、他産業への流出等〕

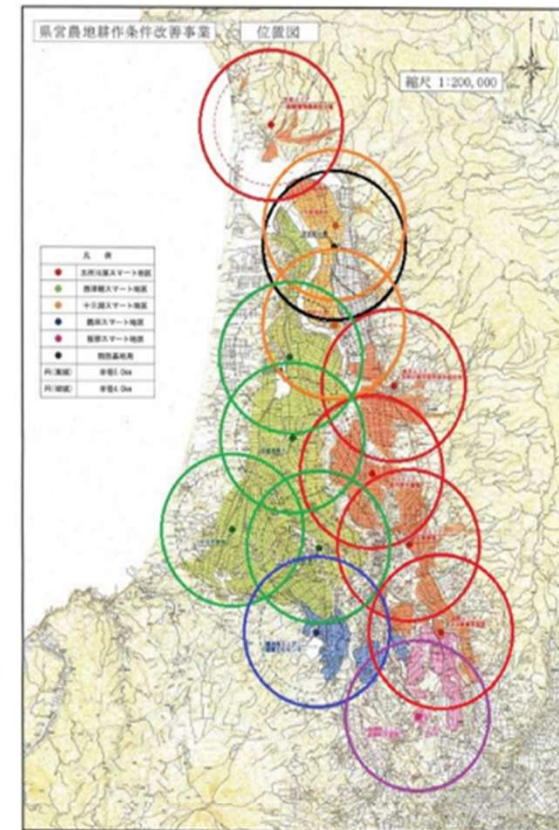


## 稲作栽培面積の急増

一方、稲作農家の栽培面積（1戸当たり）はH22年～R2年までの10年間で**154%**（県全体159%）と急増（つがる市の稲作面積7,994ha）



## RTK基地局の整備



西北地域では、精密な作業が行える高精度の位置情報を発信する固定基地局が14基整備され、効果的なスマート農業に取り組む環境が整ってきている。

# 1 - 2 課題

- ▶ **課題 1**  
農家の減少、栽培面積の急増、スマート農業の拡大といった現状を考慮し、大規模稲作の経営手法の改革
- ▶ **課題 2**  
小規模農家が生き残るための低コスト稲作農業の確立
- ▶ **課題 3**  
環境に左右されない野菜栽培の確立
- ▶ **課題 4**  
農産物輸出の可能性

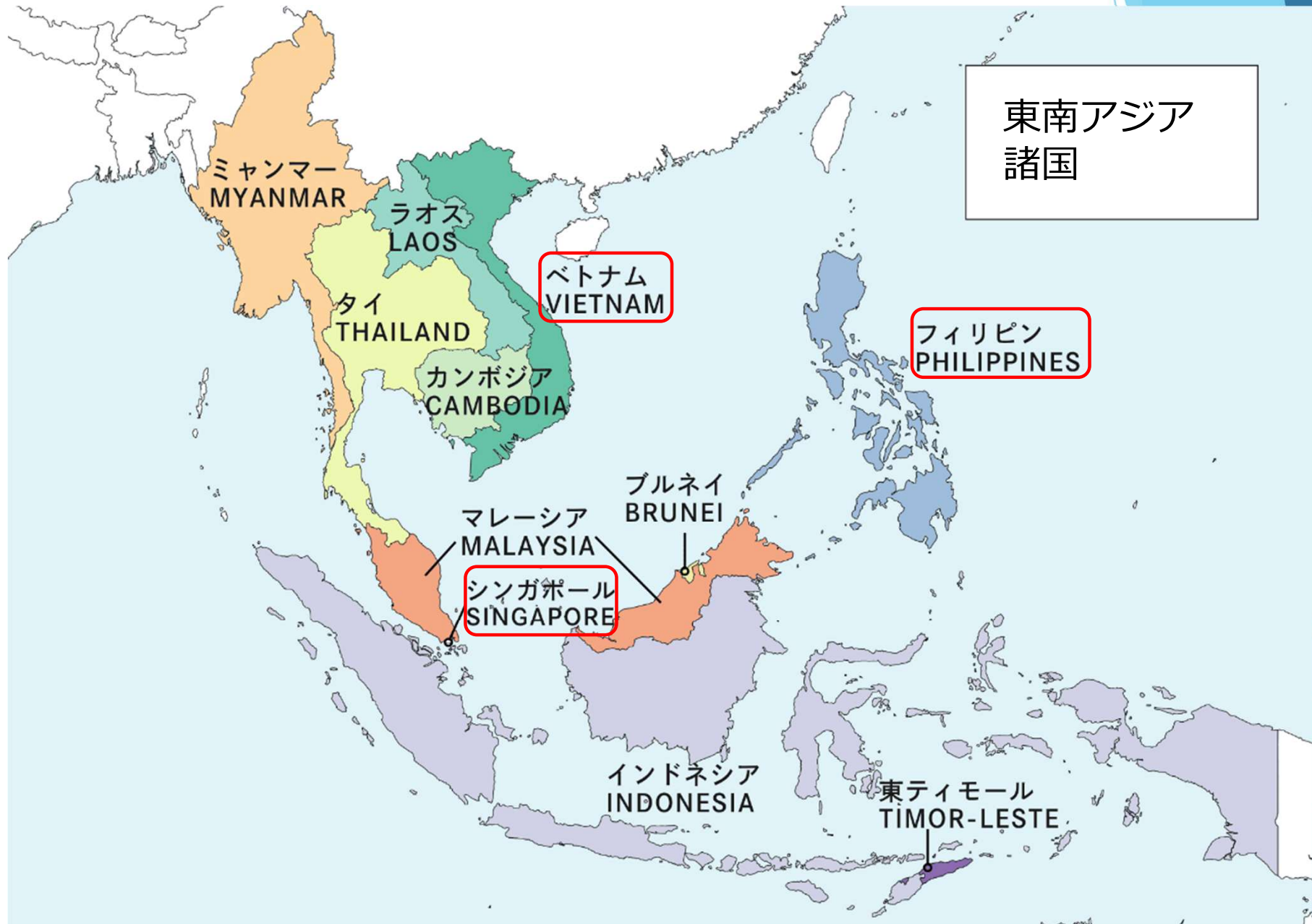
## 2 研修の方向性と目的

- ▶ これらの課題を解決するため、ベトナムやシンガポール、フィリピンの大規模経営の手法や、環境に左右されない農法、スマート農業の取組状況、農産物輸出の可能性を研修し、実践することを目的とした。

### 3 主な視察先

- ▶ ベトナム：メコンデルタ地域での現地ほ場視察
- ▶ シンガポール：水耕栽培の最新事例
- ▶ フィリピン：PhilRiceでの視察

### 3 主な視察先の概要



# 3-1 ベトナム



## 3-1 ベトナム視察

- ▶ **メコンデルタ稲研究所**
- ▶ **カントー大学**
- ▶ **JETROホーチミン事務所**
- ▶ **COOPマート、高島屋**
- ▶ **株式会社FAEGER**
- ▶ **イオンモールホーチミン**

# 3-1 ベトナム視察 メコンデルタ稲研究所



# 3-1ベトナム視察 メコンデルタ稲研究所



# 3-1ベトナム視察 カントー大学



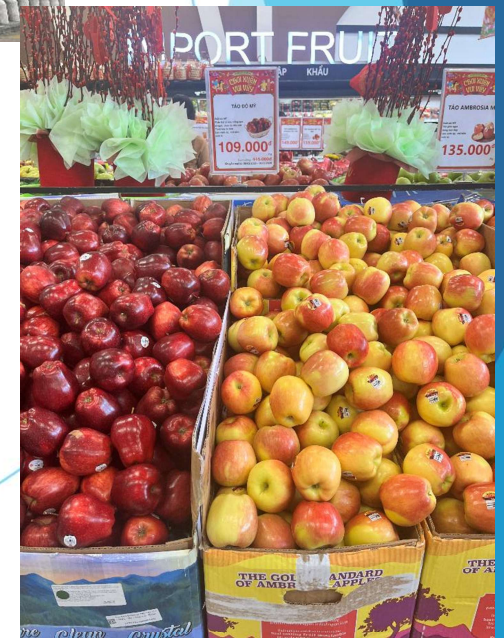
世界一おいしいお米→  
ST25



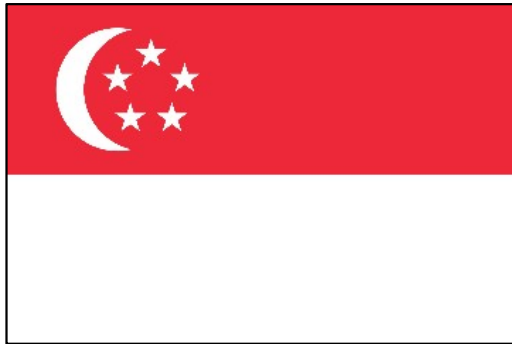
# 3-1 ベトナム視察 JETROホーチミン事務所・(株)FAEGER



# 3-1ベトナム視察 コープマート・イオンモール



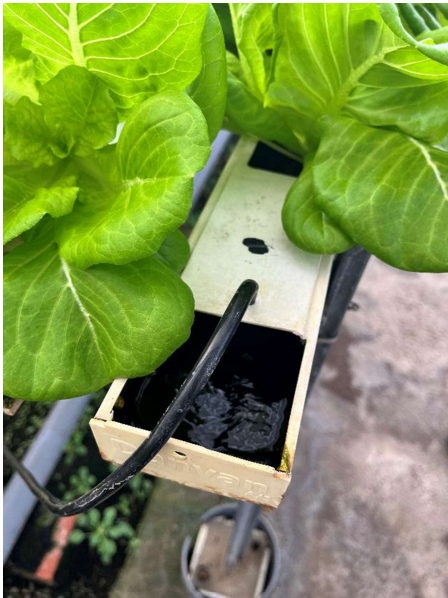
## 3-2 シンガポール



## 3-2 シンガポール視察

- ▶ KOK FAH TECHNOLOGY FARM
- ▶ 明治屋、伊勢丹、ドン・キホーテ
- ▶ J A全農シンガポール事務所訪問
- ▶ JETRO シンガポール事務所

# 3-2 シンガポール視察 KOK FAH TECHNOLOGY



# 3-2 シンガポール視察 市内市場調査

日本産米  
販売状況



りんご  
販売状況



# 3-2 シンガポール視察 JA全農・JETRO事務所



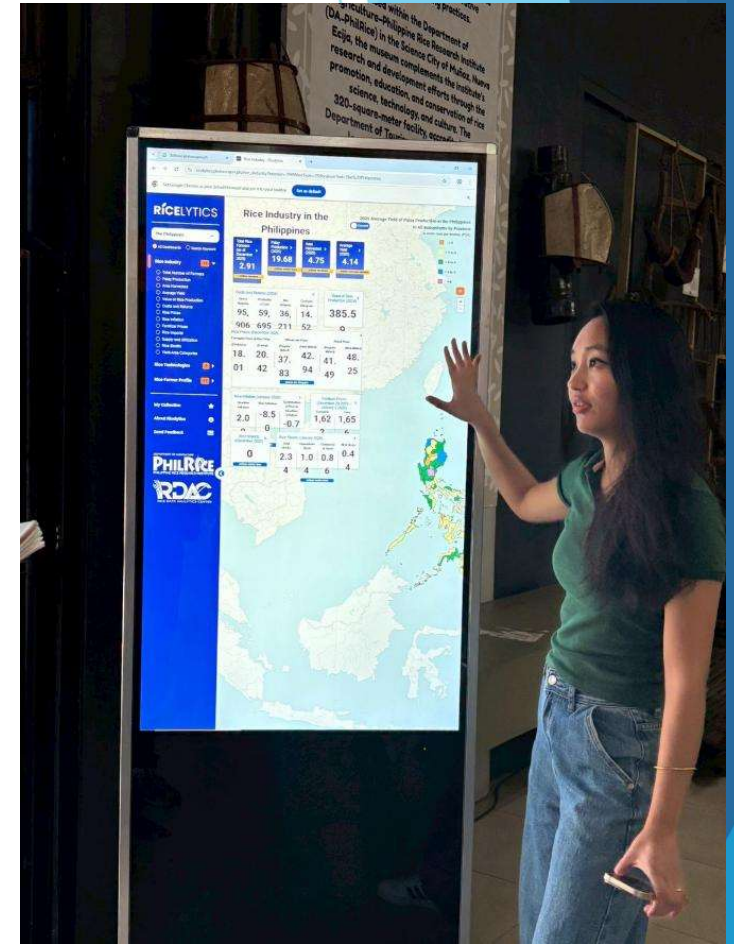
# 3-3 フィリピン



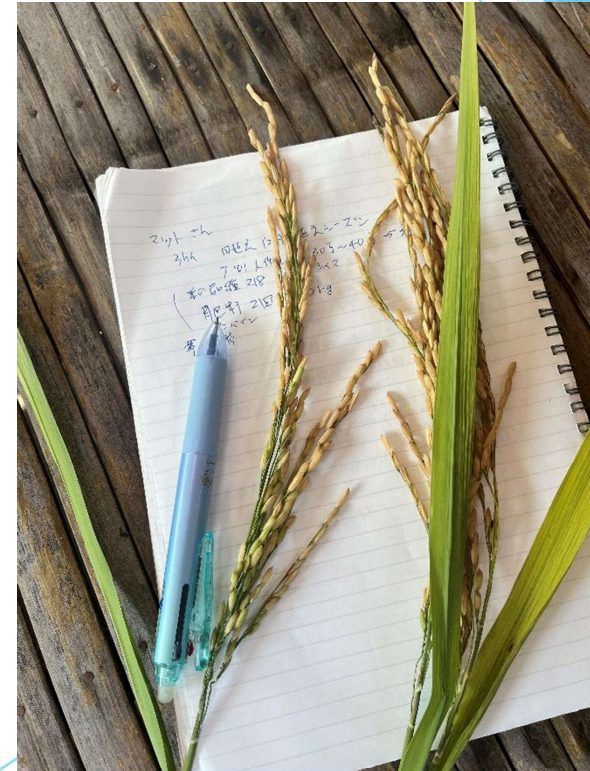
## 3-3 フィリピン

- ▶ PhilRice (フィリピン稲研究所)
- ▶ 現地稲作農家マツトさん
- ▶ サン・アンドレス市場、マニラ三越、SMモール

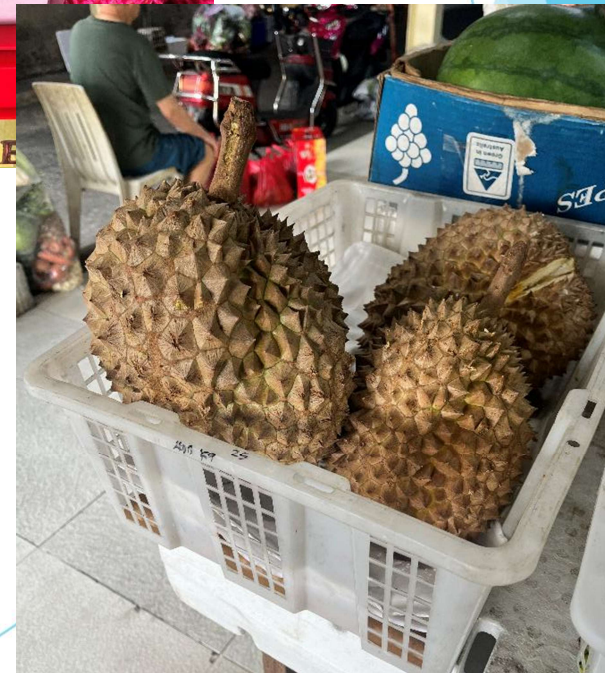
# 3-3 フィリピン視察 PhilRice (フィリピン稲研究所)



# 3-3 フィリピン視察 現地稲作農家



# 3-3 フィリピン視察 市内市場調査



# 3-3 フィリピン視察 市内市場調査



## 4 現地視察を終えて

西北3地区農業士会の合同研修会で成果報告（2月25日）

つがる市4Hクラブ研修会で成果報告（3月6日）

## 5 総括

- 塩害等、最近の気候変動に悩まされていることから、安定生産を目指した米の品種改良が進んでおり、品種改良の重要性を実感。
- 東南アジアでは直播栽培が主流であることから、自身の経営にも取入れることでコスト削減・省力化、規模拡大を目指す。
- シンガポールは食料輸入国であるため、輸出の可能性を多いに感じたことから、販路拡大に繋げたい。

ご清聴ありがとうございました